

育成 かながわ

◆発行責任者／神奈川県手をつなぐ育成会

会長 植松 みさご

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

TEL 045-323-1106

FAX 045-324-0426

e-mail iijkanagawa_k@yahoo.co.jp

第53回 手をつなぐ育成会関東甲信越大会 埼玉大会

「この子らを世の光に」ーノーマライゼーションの原点に立って！ー

11月9日（土）に開催された埼玉大会には、当会から18人が参加しました。会場は埼玉会館で、午前中は大会式典と全体会。午後は三つの分科会がありました。「知的障害者福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏の著書「この子らを世の光に」をテーマに掲げた有意義な大会でした。第1分科会と第3分科会の参加者の感想をお伝えします。



【第1分科会】「これからの育成会」

～ネット社会の今だから人と人との繋がりを大切にしたい～

1. 基調講演：久保 厚子 氏（全国手をつなぐ育成会連合会会長）
「ネットで伝わりますか？ 親の思い、子どもの気持ち」
 2. シンポジウム
 - ・佐々木 桃子 氏（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長）
 - ・江村 恵子 氏（一般社団法人群馬県手をつなぐ育成会会長）
 - ・善川 夏美 氏（一般社団法人広島県手をつなぐ育成会副会長）
- コーディネーター：金子 麻由美 氏（一般社団法人広島県手をつなぐ育成会会長）

■ 人との繋がりの大切さについて基調講演がありました。ネット社会は情報を得るためのツールとして便利な時代になりました。同じ障害を持つ親同士で情報交換が出来、会に属す必要性や魅力が薄れているとの話をされていました。育成会会員も高齢化になり、若い世代が入らない実情があります。若い方のニーズを把握し育成会活動を見直していく必要があります。『高齢の親は経験からの知恵と言語力で、若い親は新しいアイデアと行動力で』には大変共感しました。（秦野支部）

■ ネットから情報が得られる昨今、新会員獲得は難しい問題なので他支部を参考に出来たらと考え参加しました。久保会長は、京都御所でのお茶会で上皇后陛下に「手をつなぐを読んでいます」とお聞きになった事、「大切な活動」と仰って頂いた事、この後皇居にて行われる国民祭典へ招かれている事など話されました。やっぱり育成会はずごい！と思いました。そして、ネット社会でも人と繋がりたい人は多い、「一人の夢でも皆では実現できる」を実行しましょうと。

シンポジウムでは地域での実践例を挙げて頂きました。やはり研修会や啓発活動などを地域で開催する事から入会に繋がるとの事でしたが、地域ならではの情報を発信する事で、関心を持ってもらえるとの事でした。（座間支部 福村 幸江）

【第 2 分科会】「権利擁護を考えるーやまゆり園で散った命からー」 ～それでも減らない虐待・差別をどう乗り越えるか～

1. 基調講演：野澤 和弘 氏（毎日新聞論説委員）
「知的障害児者の命と人権を守り抜くために私たちがやるべきこと」
 2. シンポジウム
 - ・野澤 和弘 氏
 - ・松上 利男 氏（社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長）
 - ・村山 園 氏（千葉県手をつなぐ育成会 権利擁護委員会委員長）
- コーディネーター：田中 正博 氏（全国手をつなぐ育成会連合会統括）

【本人大会】

式典
鉄道博物館
バスツアー



【第 3 分科会】「共生社会で生きることを支えるもの」 ～計画相談、成年後見制度、地域への理解啓発～

講師：又村 あおい 氏（全国手をつなぐ育成会連合会政策委員）

■ 講演では、1. 共生社会とはどのような社会か、2. 共生社会を支えるための法制度、3. 共生社会の実現に向けて育成会ができること、をテーマにお話しがありました。共生社会は全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会とのこと。このような地域社会とするために下記のような提言がありました。育成会は様々な支援の「受け手」だけでなく、これからは「支え手」として他の障害特性で困っている人（団体）にも困りごとを共有した上で合同で要望し、共生社会の一翼を担う取り組みをする必要がある。また、育成会の持つノウハウを展開していく事。このようなお話しに共感しました。〈秦野支部〉

“バリアフリーフェスタ 2019”

11月2日（土）に、横浜そごう9階、新都市ホールにて開催されました。この催しは、県育成会も委員として参加している神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議が、バリアフリーの街づくりを進める一環として開催しているものです。2016年に座間キャラバン隊が神奈川県バリアフリー街づくり賞を受賞し出演しましたが、県育成会は、次の年からキャラバン隊と隣り合って参加し、今回は相談会等を行いました。約20の団体の参加があり、一般参加者との交流だけでなく、団体同士の情報交換や障害者に関する様々な体験など、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。〈大磯支部 野口 富美子〉



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL：03-6894-9110
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気でケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって異なります
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって異なります

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

※毎月1日付で加入できます。2020年度もよろしくお願いいたします。

神奈川県手をつなぐ育成会 研修会

家族にできる意思決定支援 PART2

『物語づくり』

講師 大塚 晃 氏（上智社会福祉専門学校教諭）



1 月 31 日（金）、かながわ県民センターにおいて、参加者 21 名で意思決定支援についての研修会が開催されました。前回に引き続き物語づくりについてお話していただきました。

前回（第 1 弾）は、我が子が主役の『『物語』づくり』の勉強会に参加しました。我が子を中心に関わりあう人々や好きなものを思い描く、ワクワク感のある『物語』となりました。今回（第 2 弾）はその延長線上にある将来を見据えた我が子の人生の『物語』を考える機会となりました。その中で支援を必要とする本人（障がい者）と支援者が『物語』を共同で作る作業が望ましいと伺いました。支援者が解決しない支援、聞き手に徹し問題を客観視し、これまでの経験に新しい意味付けを行い、新たな物語を共同で作っていくというのです。しかし、現状は被支援者と支援者との対等な力関係を築くことが困難な場合も少なくありません。どうしたら本人を中心に、意心地よい場所や支援ができるかを「本人の最善の利益」を考えながら『物語』を再構築するのを感じました。やまゆり事件にも触れられ、現実にはたくさんの問題を抱えている『物語』を社会が共同で新たな物語に書き換えていくチャンスなのかもしれません。

〈二宮支部 北山 弓子〉

【参加者のアンケートより】

- ・初めて参加しましたが話がとてもわかりやすかったです。
- ・ダウン症の娘の連絡帳を必要がないかと捨てようと思っていましたが考え直し、生まれた時から通所時代と育っていった状況を連絡帳を辿って娘のストーリーを作ってみようと思いました。
- ・物語づくりを意識してみたい。
- ・大ホールでの研修会は一方向的な話になりがちですが、このような小規模な研修会はや取りしなが参加者の考えを引き出していき良かったと思います。
- ・大塚先生の話はいつも楽しいです。少し難しかったですが参考になりました。
- ・こだわっていることから視点を変えたいと思いました。
- ・今までいろんな会に出席してきましたが今日の内容は胸にグサッときました。今までにないお話で良かったです。
- ・療育手帳 B2 の息子に対し親の感情を優先して喜怒哀楽を与えてきた感がありました。息子の物語を中心に日々生活していく覚悟ができました。
- ・やまゆり事件のお話が伺えるかと思い出席しました。先生の考えも伺え嬉しかったです。本質を検証してほしいです。応援しています。



神奈川県手をつなぐ育成会 研修会

障害児者の口腔ケアによる自立支援

講師：永村 宗護 氏（神奈川県歯科医師会常任理事）



2 月 27 日（木）、藤沢市商工会館ミナパークにて研修会が開催されました。講師の永村先生は、日本障害者歯科学会の認定医・指導医であり、藤沢市で永村歯科クリニックを開業されています。新型コロナウイルスの影響もあり参加者は 14 名と少なかったものの、参加された方は歯の健康に関心のある方が多く、皆とても熱心に聞いていました。



【講演内容】

～アンケート結果から～

昨年 10 月、県歯科医師会からの依頼で「障害者歯科に関するアンケート」を各支部で実施しました。396 名の回答があり（男性が 68 %、女性が 29%）、そのうち 2 / 3 の方が困った事があったと回答。困った事としては、虫歯、歯茎の腫れ、歯並び、食べ方、早食い、丸飲み…など。

歯科医を受診している人は 78% で、受診していない人は「どこの歯医者さんに行けばいいかわからない」「嫌がる」などが受診していない理由として挙げられていました。また、障害の特性に理解のある歯科医師を紹介して欲しいという方が 72% いて、食事について訓練や助言・相談を受け付けている歯科医療機関がある事を知らない人が多いことがわかりました。

～神奈川県歯科医師会の障害者歯科診療への取り組み～

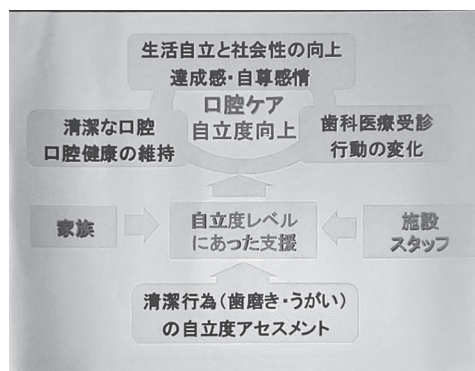
現在、一次医療機関 539 医療機関、一次医療担当医 553 名、二次医療機関と準ずる医療機関は 14 医療機関と三次医療機関が 5 医療機関で、神奈川県の障害者歯科が実践されています。

一次医療機関では、神奈川県歯科医師会が実施する障がい者歯科研修を終了した同会員等による診療が行われています。診療内容により段階的に二次医療機関、二次医療機関に準じる医療機関、三次医療機関に紹介しています。二次医療機関では、集約された人員と装備と、やや高次の内容を持つ診療が行われています。緊張や恐怖心を和らげる効果のある麻酔薬を利用した診療に対応できる医療機関もあります。三次医療機関では、専門的で包括的な内容を必要とする診療が行われています。全身麻酔や入院に対応できる医療機関になっています。

～歯の磨き方～

- ・横の方から小さめの歯ブラシを入れると良い。ほっぺたの内側の所を 1 点押さえると口が開く、そういうスポットがあるのでそこを押さえると良い。歯を磨けてないと思ったら自分が鏡になり、親や支援者がやって見せて、同じようにやってごらんと見せる事で模倣させる。
- ・障害がある方は 10 数えることは我慢ができる事が多い。テンカウント法と言って、10 数えてみよう…と言って、前歯、奥歯、反対側それぞれ 10 数えて磨くようにする。
- ・顔や口に触られるのが嫌な方は、気長に、心理的な学習、怖いものではないと感覚を鈍らせるように徐々に少しずつやっていく。いきなり口の中から始めるのではなく、ほっぺたを触るとか遠い所から刺激を始めるのが良い。

- ・歯磨きは、起きている時は唾液が流れるが寝る時は体温が上がり唾液の分泌量が少ないため、夜寝る前の歯磨きが大切です。
- ・歯ブラシはあまり大きくないもので奥歯まで入るものを選び、小刻みに磨くようにしてください。持ち方は出来る人は鉛筆持ちで、歯の表面を削らないようにそっと歯ブラシの毛先でこするようにする。電動歯ブラシの場合も歯の表面に少し当たるくらいでいい。
- ・基本のケアとしては家族・施設のスタッフが一番重要な支援者で、その次が歯科医師になります。



【参加された方からの質問・感想】

- 私は次の 4 点について質問しました。先生からは丁寧なご回答をいただきました。

〈奥歯用の小さな歯ブラシは必要か？〉A：私たちが家の掃除をするときに様々な道具を使うように、歯の場所種類によって何種かの歯ブラシを使い分けするのが良い。

〈歯磨き後口を濯ぐ水を飲み込んでしまうが拭き取りのほうが良いのか？〉A：飲み込んでも胃酸が菌を殺すのでそれ程心配はないが拭き取るのも良いと思う。

〈歯間ブラシは必要？〉A：バーがついた物で前歯の間を通すと虫歯防止に効果的。

〈ウォータージェットの清掃は効果的か？〉A：かなりの勢いがあるので歯に対して直角に当てることができれば良いが歯と歯茎の間に強く水が当たり炎症を起こす事もあるので注意が必要です。それよりも柔らかな歯ブラシの毛先で丁寧に歯磨きが良いかもしれない。

〈いんくる支部 土屋 郁英〉

- 先生のお話は大変わかりやすく、私はお話を聞きながら子どもへの磨きが強かったのではないかと感じました。そこで歯ブラシの硬さに関する質問をしたところ、先生からは子どもには普通のを、仕上げ磨きには柔らかいものが良いと教えていただきました。また、他の方の質問や先生のお答えを聞いていると自分の仕上げ磨き以外にもいろいろやり方があるのだと勉強になり試してみたいと思いました。半年毎に定期健診を受けかかりつけ医に磨き方は教えていただいていたのですが慌ただしさを理由にいつのまにか力が入っていたことを反省しつつ、硬さも見直すことで、気持ちを新たに本人に寄り添った歯磨きを実践していこうと思いました。

〈平塚支部 鈴木 亜紀子〉

未来あんしんサポート

未来あんしんサポート

「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために
「親なきあと」をサポートするご提案です

親なきあとのこと…
お考えですか？

障がいのあるこの子が
お金の管理をできるか心配…

この子が経済的に
困らないようにしてあげたい。

この子への想いを
誰かに引き継ぎたい。

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのごまします
障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。
「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただく
ためのご提案です。
「生命保険信託」の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD
富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産とし
て管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

お問い合わせはこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
0120-580-503 通話料 無料
受付時間：月～金（祝日・年末年始を除く）9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●未来あんしんサポートは「個人情報の保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、未来あんしんサポートのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

〔生命保険募集代理店・信託契約代理店〕
株式会社ジェイアイシー
本社 東京都新宿区西新宿3-2-11
〒160-0023 新宿三井ビル2号2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

〔生命保険引受保険会社〕
FWD富士生命保険株式会社

〔所属信託会社〕
みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806



各支部の催しなどを紹介するコーナーです。たくさんの情報をお待ちしています！

鎌倉支部

鎌倉支部は令和元年に 65 周年を迎えました。その長い歴史の中で世代交代も進み、当時のことを語り継ぐことも難しくなって来ました。そこで、通常の会報とは別に、業者に印刷を依頼しカラー印刷の『会報号外』を発行しました。育成会への理解と必要性を若いご家族に伝えていけたらと思っています。また、新年会を兼ねての 65 周年記念ランチ会も開催し、地元鎌倉の隠れ家フレンチレストランで豪華なコース料理を堪能しました。会の通常の活動としては、音楽療法と和太鼓、ともしび号で行くバス旅行が特に好評です。

〈塚田 マリ子 ニーナ〉

厚木支部

厚木支部が力を入れている「青年活動部」では、本人たちの余暇支援・体力増進（維持？）のために ①スポーツ教室（月 1 回）②プール活動（月 1 回、8 月は毎週）③バス旅行（年 1 回）などを行っています。①ではダンスの先生の指導の下、前半はストレッチ、後半は流行の曲にあわせたダンスで汗をびしょりかきながら身体を鍛えています。（親たちもついていけない激しさ！）②では保健福祉センター内の温水プールで律儀にウォーキングをしながら足腰を鍛えています。また夏は市内にある愛名やまゆり園屋外プールをお借りし、浮き輪を使って自由な泳ぎを楽しんでいます。③は社会見学と昼食でのマナーを学びながら観光やグルメを楽しみ、いつも人気の企画となっています。子どもたちの笑顔と元気な姿を見ることができ、親も幸せを感じるひとときです。

〈中川 孝子〉



大和支部

2020 年度には 60 周年、スポーツや余暇支援に特化した付属組織「オルカの会」も 10 周年を迎え、地域の仲間と共に楽しめるイベントを夏に企画しています。60 周年記念行事も検討中で、忙しくも充実した年を迎えた大和支部です。家族も高齢者が増え、若い会員が増えてほしいのは何処も同じですね。大和でも次の世代にバトンを渡せる様に、運営を見直し整理しながらの活動の中、まだまだベテランも頑張っています！「皆さんの要望を行政に伝え、正確で有益な情報を会員に届ける」という事を常に意識し、障がい者とその家族が地域で孤立せず、穏やかに楽しく過ごしていけるよう、所属して良かったと思える会でありたいと思います。環境問題や自然災害、将来への不安が多い時代だからこそ、繋がりが大切です。協力し、情報交換をし、知恵を絞り、元気を出していきましょう！

〈加藤 みどり〉

編集後記



春はスタートの季節です。県育成会もホームページの開設まで秒読み段階となりました。広報委員としての喜びと責任の重さに不安が入り混じっています。会員はもとより、まだ見ぬ仲間の希望の光になることを切に願い、会報もホームページもどちらも良いものにしていかなければと身の引き締まる思いです。皆さんの☆お気に入りになれますように！

〈広報委員 鈴木 亜紀子〉